

平成28年度

第1回「学校飛翔委員会（旧 体罰・いじめ・不登校防止対策委員会）」の意見

平成28年6月7日（火）

豊川商工会議所専務理事 松下紀人さま

- 楽しそうに指導を受けている。
- 「豊川工の心」は、どこへ配付していますか？
- ▲豊川市内の中学校と、新城や豊橋市の一部の中学校に配付しています。中学3年生の生徒向けの学校宣伝です。

豊川少年少女発明クラブ専任指導員 渡邊光雄さま

- インターンシップを単位認定するなど、積極的に評価してほしい。

同窓会長 柴田浩志さま

- 名称が変わっても油断することなく、小さなサインを逃さないようにしてもらいたい。

中日精工株式会社専務取締役 山本哲司さま

- 会社・企業が求める人材を育ててほしい。問題解決できる人材、引き出しの多い人材を育ててほしい。1, 2年生のうち、1つの作品を作り上げることが目標でもよいが、3年生になったら「違ったものができてしまっても修正することができる。」ところまで目指してほしい。
- 高校卒業までは18年間、それ以降は企業で42年間を過ごす。会社での教育・人づくりが大切である。学校と連携を深めたい。
- 万博の年に単位の取れるインターンシップをお願いしたことがある。

豊川市立代田中学校長 福田隆信さま

- 授業の様子を見て、普通科と違い、目標がはっきりしているため、生き生きと授業に取り組んでいる姿が見られた。
- 安否確認メールとはどんなものですか？
- ▲高校生はほぼ全員携帯電話を所持しているので、登録を促している。愛知県の簡易電子システムのURLを添付して送信し、それを受け取った生徒が各自でアクセスして自分の安否情報を入力する。入力した情報が県のサーバーにエクセル形式で保存されるので、学校の担当者がそこから情報を引き出して確認するシステムである。
- 小中学校には、一方通行の防犯メールしかない。市に要請して対策を立てたい。

**中部西北連区長 鈴木謙蔵さま**

- 豊川郵便局から少し東側の姫街道沿いに住んでいるが、登下校中の豊川工業の生徒をほとんど見かけない。街頭に立っていても、最近の小学生は、知らない人には挨拶しない。知らない人の挨拶には答えないよう指導されているのかもしれないが寂しい。

**代田地区連区長 岡田栄生さま**

- 重点目標の「具体的方策」には、ひと目で分かるよう達成目標を数値化し、%等で表すことが必要であると考え。合わせて満足度もはかるとよい。
- スクールカウンセラーが、1人数分でもよいので学校の全生徒と面談を行うとよいと考える。

**新道町町内会区長 村田綱雄さま**

- 豊川工業の生徒は、学校周辺及び町内のゴミ拾いをとても積極的に行ってくれている。また、交通安全の立哨活動にも多くの生徒が参加してくれている。とてもありがたい。
- 県営住宅の高い所から豊川工業がよく見えるし、声がよく聞こえる。よい学校だと思っている。

**P T A会長 星川佳伸さま**

- 授業見学させていただいて、実習の生徒たちがいきいきしている。

**P T A副会長 田中智子さま**

- 豊川工業は挨拶がよくできるから、自分の子どもを預けた。間違っていなかった。
- 先生方がとても親身である。多くの生徒が入学してくれるよう地域の皆さんの応援をお願いします。

**P T A副会長 小山三穂子さま**

- 鈴木さんの話を聞いて、地域の方々が身近にいてくれて安心である。地域の方々に豊川工業の生徒たちは守られていることを嬉しく思う。